

## ⑩ 片岡幼稚園 1974(S49)～

片岡幼稚園は74年3月、鎌倉市手広1482に開園し、藪田美江子が初代園長に就任した。命名の片岡は手広地区の字名である。入園希望者は109名であった。

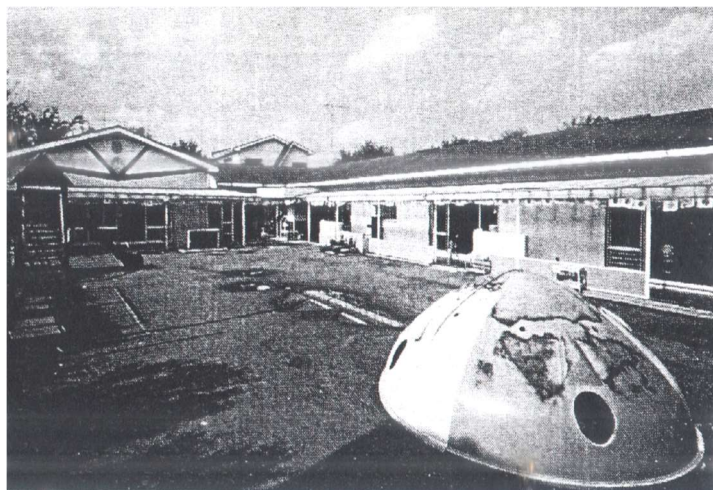
開園に先立ち、前年の5月に設立発起人会を開き、学校設置計画について県知事に申請し、10月に園舎工事に着手した。嶋村鎌吉氏を設立代表者に、のちに理事長に選任した。

**設立の経緯** 鎌吉の友人、当時鎌倉市議で文教常任委員長だった石井弥一から「鎌倉市は幼稚園不足で困っている」と知らされた。鎌吉は幼児期の躰と教育が人間形成にとって重要と考えていたので、手広の片岡にある自らの土地を提供して設立に踏み切った。第二次ベビーブームのピーク時だった。個人立幼稚園が多い中、教育は公共性の高いものとの信念で、当初から学校法人片岡学園としてスタートした。教育はできる限り平等でありたい、親の経済的理由で子どもの教育に差別を生じさせないとの考えから有料課外活動を控えた。

**園の特長** 地域に育てられ、地域の環境に合った幼稚園をめざした。自然との深い関わりの中で作物を育

て食べる活動の実践である。創立以来の畑“苑”を引継ぎ活用されてきた。苺つみ・じゃがいも・落花生・さつまいも掘り等の収穫を通じて、土、風、水や昆虫、植物に触れ合う農作物への直接体験は、創立者の建学の精神であった。二代理事長嶋村忠雄は健在で教材苑を守り園児たちの作物を育てている。

**創立 30 周年** 2004 年 3 月に迎えた。周囲に住宅が立ち並び、騒音の苦情もあり、広い園庭が望ましいことから園地を売却して、自然環境が良好な敷地面積、1870㎡の現在地(鎌倉市手広68-4)に移転した。新園舎の竣工が30周年の記念事業だった。



1974 年 開園時(手広 1482)の園舎



2004 年(手広 68-4)に移転 新園舎と園庭



もう一つの記念事業は『片岡幼稚園 30 周年記念誌』の発行である。「第 1 部」は子どもの心身の成長に寄り添う片岡幼稚園 30 年の記録である。「第 2 部」では地区の詳しい歴史を町内会長石井和行他 11 名がま

とめた。手広村の遺跡発掘調査報告や 16 世紀以降の変遷が掲載され、この種の「記念誌」として珍しい。園が地元民の要請で設立され、地域で育てられてきたことがわかる。記念事業は第3代理事長で、当時の園長嶋村勝美が推進した。勝美は「鎌倉私立幼稚園協会」業務や「鎌倉私立幼稚園父母の会連合会」結成にも尽力した。

**今日の課題** 卒園者であり、祖父や父の幼稚園への思いを引継いだ現園長の嶋村武志は、「昭和、平成、令和へ親や子を取巻く社会状況が大きく変り、園の保育の在り方も違ってきた。在園年齢の子どもの成長に何が望ましいのか日々考える。遊びと学びの環境創り。少子化、物価や人件費の高騰で経営は厳しいが、預り保育、広い園庭で運動会、外国人を招いた教育など新たな試みも取入れた。言語や肌の色の異なる人たちに接し多様性を学ぶ機会になれば良い。」科学、英語、サッカー、体操の課外教室も実施していると語った。



どろけいあそび



教材苑の苺つみ



毎日の読み聞かせ